バランシングジャケット
取扱説明書

B.C. jacket

bio-control XD

instruction manual

apollo

日本潜水機株式会社
〒243-0424 神奈川県海老名市社家905
Phone (046) 233-4111
Fax (046) 233-5886

Nippon Sensuiki co., ltd.
905 Shake, Ebina City,
Kanagawa, 243-0424, Japan
Phone (046) 233-4111
Fax (046) 233-5886

apollo sports USA, inc.
12322 HWY. 99 So. Unit 102,
Everett, WA, 98204 , U.S.A.
Phone (1) 415 290-9890
Fax (1) 415 290-7665

apollo australia pty, ltd.
Unit 1, 20 Artisan Road,
Seven Hills, N.S.W., 2147
Australia
Phone (61) 2 9620 9577
Fax (61) 2 9620 9744

Pinnacle Sports ltd.
Unit E, 9 Beatrice Tinsley Crescent,
North Harbour Industrial Estate,
Albany, Auckland
New Zealand
Phone (64) 09 415-0229
Fax (64) 09 415-2916

apollo web site
http://www.apollo-sports.co.jp/

08.04.01　　3304500100

はじめに

このたびは当社バランシングジャケット「bio-control XD」をお買い上げ頂き、
ありがとうございました。
当製品を使用する際には必ず次のことを守ってください。

- 取扱説明書を熟読し、完全に理解してください。
- Cカードを取得していない方は使用しないでください。
（詳しくは危険事項参照）
- ダイビング用B.C.ジャケットですので、それ以外でのご使用はおやめください。

品質保証書について

品質保証書は、お買い上げの際購入店からお客様へ直接お渡ししています。
購入日および販売店印がない場合、保証は無効となりますので必ずご確認ください。
なお、保証規定などの詳細は保証書裏面をご覧ください。

次に示すマークが文頭に付いている文章は、特に気を付けて良く読み、完全に理解してください。

⚠ 危険事項

このタイトルの付いている文章は、守らないと最悪の場合、重傷事故や死亡事故につながる危険性のある、スクーバダイビングに対する知識とスクーバダイビング器材の取扱方法に関する情報について書かれています。

⚠ 警告事項

このタイトルの付いている文章は、守らないと間接的に重傷事故や死亡事故につながる可能性、もしくは重度の物損事故が起こる可能性のある、スクーバダイビングに対する知識とスクーバダイビング器材の取扱方法に関する情報について書かれています。

⚠ 注意事項

このタイトルの付いている文章は、守らないと軽傷程度の事故につながる可能性、もしくは、軽度の物損事故が起こる可能性のあるスクーバダイビングに対する知識とスクーバダイビング器材の取扱方法に関する情報について書かれています。

⚠ 危険事項

- 当製品を使用してスクーバダイビングを行うにあたっては、国際的に認知されている潜水指導団体の学科講習および実技講習を必ず受けてください。
安全性の見地から、各指導団体の発行するCカード（講習終了認定証）を取得していない方の当製品の使用を禁止いたします。
［ただし、各指導団体のインストラクター監督下における講習中での使用は、この限りではありません。］
基本的なスクーバダイビングに関する知識が欠如したままダイビングを行うと、重症事故や死亡事故につながる危険性があります。
- スクーバダイビングを行う際には絶対に一人で潜らず、必ずバディシステムを守るようにしてください。
単独潜水は、重症事故や死亡事故につながる可能性があり、大変危険です。
- ダイビング数でタンク100本、または使用状況に関係なく購入後もしくはオーバーホール後、一年間を経過した時点を目安に必ず販売店での器材点検を受けてください。必要であればオーバーホールも受けてください。
定期的な点検やオーバーホールを怠った場合は、器材が正常に作動せず重症事故や死亡事故につながる可能性があります。

⚠ 警告事項

- スクーバダイビングを行う際には、必ず良好な健康状態で行ってください。少しでも寒気を感じたり、疲れていたり、気分が悪かったりする場合には、絶対に無理を避け、ダイビングを中止してください。
- アルコール類はもちろんのこと、薬品類（特に点鼻薬や風邪薬など）の摂取後はダイビングをしないでください。
体調の悪い人や持病のある人は、必ず医師の診断を受けてください。

⚠ 注意事項

- 直射日光を当てたまま放置しないでください。
- 真夏の自動車内など高温な所での保管は避けてください。
- エアバッグの上には重量物を置かないでください。
- 鋭利な物でエアバッグ表面へキズなど付けないよう注意してください。
- ガソリン・シンナーなど、揮発性の強い薬品でのお手入れはやめてください。
- B.C.ジャケットは、正規の救命具ではありません。浮力を調整する器材です。
救命具および浮輪としての使用は絶対にしないでください。
- 使用後は、必ず内部・外部を水で流しながら十分に塩抜きを行ってください。

1. 準備

● B.C.ホースをレギュレーターへ取り付けます。
まずB.C.ホースのパワーインフレーター側の接続部リングを持ち上げて、パワーインフレーターからB.C.ホースを取り外してください。
次にレギュレーター1stステージの“L.P.”中圧ポートプラグを取り外します。
この際、必ずレギュレーターがタンクに接続されていないことを確認してから作業を行ってください。
B.C.ホースの接続ネジの根元にゴミ等が付着しておらず、Oリングがしっかりとセットされている事を確認し、1stステージ“L.P.”中圧ポートへB.C.ホースを取り付けます。
最後にスパナ等を使い、時計方向に回して締め付けてください。

⚠ 注意事項

“L.P.”中圧ポートプラグを外す際には、必ず6角レンチを使用してください。
またホース接続の際、エア漏れを防ぐため十分な締め付けが必要ですが、ある程度の硬さになったら十分です。それ以上の締め付けはネジを痛める原因となりますのでおやめください。ご不明のお客様は、購入店へ接続を依頼してください。

⚠ 注意事項

中圧ホースは特に破損や不良箇所がなくても、また使用状況にかかわらず、1〜2年毎に交換するようにしてください。長期間交換しないまま使用し続けると、外観上問題がなくても、経年劣化により破損を招く場合があり、非常に危険です。

2. 作動確認

1) レギュレーター1stステージをタンクへ取り付けます。
まずヨークスクリューを緩めダストキャップを外してください。
次にB.C.ホースがパワーインフレーター側へ出る方向でセットし、レギュレーター1stステージをタンクバルブへ装着してください。

⚠ 注意事項

ヨークスクリューの締め付けは、多少きつくなる程度で十分です。
過度の締め付けはネジを痛めたり、使用後のヨークスクリュー操作が固くなり、外しにくくなる場合があります。

2) B.C.ジャケットにエアを入れます。

● タンクのエアを利用する場合
まずB.C.ホースをパワーインフレーターへ接続します。
この際、接続部リングを持ち上げながら挿入し、確実にセットしてください。
タンクバルブを開け、インレットボタンを押すとエアが入ります。

● 口（オーラル）で息を吹きこむ場合
パワーインフレーターマウスピースをしっかりくわえ、エキゾーストボタンを押しながら息を吹きこみます。エキゾーストボタンの操作は、息を吹きこむ間だけ押し続け、息継ぎや吹き終えた時はエキゾーストボタンを離してください。

3) 安全弁の作動確認をします。
bio-control XDには、エア過充填を防ぐための安全弁が装備されています。
安全弁は、エアバック内の圧力が137hPa〜157hPa以上になると自動的に排気を行います。タンクのエアを利用して安全弁の作動確認をしてください。
インレットボタンを押し続け、エアバックが十分膨らんだあと、安全弁から余分なエアが排出されれば正常に作動しています。

4) 排気をします。

① エキゾーストボタンを押す。
ボタンを押している間、パワーインフレーターのマウスピース部からエアが排気されます。

エキゾーストボタンを押す。

② パワーインフレーターを引く。
パワーインフレーターとクイックバルブは、ジャバラホース内にあるワイヤーによって連結されていますので、パワーインフレーターを引っぱるとクイックバルブが作動してエアが排気されます。

パワーインフレーターを引く。

③ プルノブを引く。
右ショルダー部のプルノブを引いている間、安全弁が開放状態となりエアが排気されます。また、bio-control XDには背面にもプルノブ式安全弁が採用され、従来以上のスムーズな排気が可能となりました。右フロント部のプルノブを引いている間、背面の安全弁が開放状態となりエアが排気されます。

※ それぞれの排気系は同時使用もできますので、急速排気をする場合など目的に応じてコントロールしてください。

5) エア漏れのチェックをします。
もう一度B.C.ジャケットにエアを入れ、いっぱいに膨らませてください。
その状態で1〜2時間ほど放置し、膨らみに変化がなければ正常です。
なお、素材の性質上、鋭利なものでの衝撃はエア漏れの原因となりますのでご注意ください。

⚠ 注意事項

エア漏れは生地に原因がある場合と、コンボリューテッドホースおよび安全弁の取付ネジ部分のセット不良による場合とがあります。
お手入れの際に、コンボリューテッドホースや安全弁を外した場合は、エア漏れの原因にならないよう注意して組み立ててください。

仕様および各部の名称

bio-control XD
サイズ：XS / S / M / L / XL
浮　力：XS=約9.5kg / S=約11kg / M=約12kg / L=約13kg / XL=約16kg
素　材：ブラダー本体生地＝#840デニールナイロン / 両面ウレタンコーティング
　　　　ポケット生地＝リフレクションシルバーシングルPVCコーティング

前面部

背面部

バイオタンクロック2詳細

3) B.C.ジャケットをタンクから取り外す。

● バイオタンクロック2を外す。
ノブを緩めることで、タンクロックを外すことが出来ます。タンクロックを外す際は、ロックレバーの操作は不要です。
またロックレバーが同位置で固定されていることで、2ダイブ目以降のベルト長の調整が必要なくなります。
なお、強力な締め付けのために、ノブを緩めてもバックルが動かない場合があります。
この場合はノブ本体を手前に軽く引いて頂ければ、バックルは緩みます。

4) ショルダーベルトの長さ調整。

● 使用時の長さ調整。
ショルダーバックルを手前に持ち上げるとショルダーベルトのロックが緩み、ベルトを引くだけで長さの調整ができます。
着用後にショルダーベルトのD環を両方一緒に引き、体にフィットさせます。
また、ショルダーバックル中央のラッチ（両側）を強くつまむとショルダーバックルは外れます。

⚠ 注意事項
水中では、絶対にバックルを外さないでください。

5) 気室ベルト・チェストベルトの長さ調整。

① バックルを手前へ起こすとベルトのロックが緩みます。

② ベルト先端にあるD環を左右同時に、強く引くとベルトが締まります。
この際に、バックルが体の中心にくるように位置調整をしてください。

③ バックル中央のラッチ（両側）を強くつまむとバックルは外れます。

6) リアウェイトスペースの使用方法。

① バックル中央のラッチ（両側）を強くつまんでバックルを外し、ポケットを開放します。

② ポケットに必要量のウェイトをセットします。
（左右それぞれ最大1kgまで収納可能です。）

③ ウェイトをしっかり奥まで押し込み、ポケットを閉じ、バックルを再びセットします。

⚠ 注意事項
この際、カチっと音がするまでバックルを押し込んで下さい。

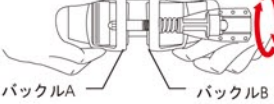
※リアウェイトスペースへのウェイトのセットはB.C.ジャケットの着用前に行ってください。

7) ワイドポケットの使用方法。

bio-control XDのポケットにはワイドポケットを採用しています。
ポケット下部のコキを上へ持ち上げ、コキを解除することでポケットの50mmマチが開放され、ポケットの内容積が増加します。

3. 使用

1) タンクへのセット準備。

① バイオタンクロック2のノブを反時計方向へ回し、バックルAとBの間隔を最大限まで広げます。

※ ベルトを緩める際は、タンクから外して行って下さい。

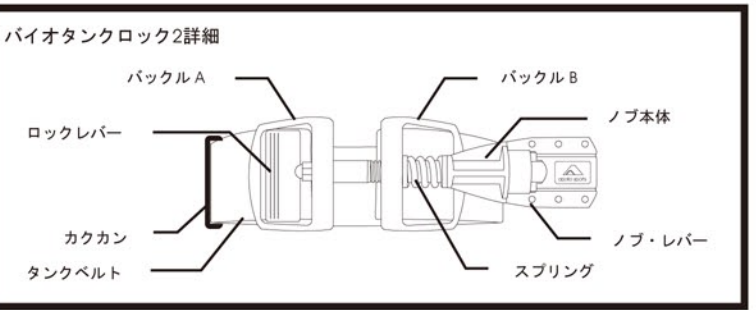
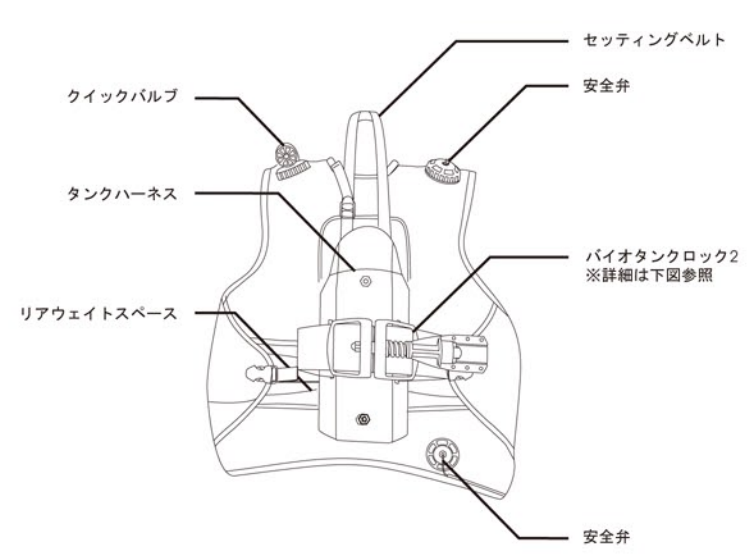
② バックルA側のベルト端末をカクカンから外し、ベルト端末を引くことでロックレバーを解除します。

③ ロックレバーを解除した状態でベルトを押し出し、一杯まで緩めます。この際、引っ張り過ぎると、バックルAからベルトが外れてしまう場合がありますので、ご注意下さい。

2) B.C.ジャケットをタンクへセットする。

① B.C.ジャケットのセッティングベルトをタンクバルブに引っ掛け、バルブコックが右肩側に来るようにタンクベルトをタンクに通します。

② タンクバルブの頂点とB.C.ジャケットの衿口部分がほぼ同じ高さに来るように調整し、その位置でセッティングベルトの端部を引っ張りセッティングベルトの長さを固定します。
これで、B.C.ジャケットがタンクに対して正しい位置にセットされます。

⚠ 注意事項
セッティングベルトは位置決めにのみ使用し、タンクの持ち運び用としては使用しないでください。

③ 潜水時にロープ、網などがバックルへ引っ掛かることを防ぐために、バイオタンクロック2がタンクの側面に位置するようにバックル位置を調整します。

④ バックルAのベルト端末を一杯に引っ張った状態で、ロックレバーを下げ、ベルトを固定します。これでタンクの円周とベルトの長さの調整が完了となります。
ベルト長の調整が完了したら、バックルAのベルト端末を再度カクカンにセットし直してください。

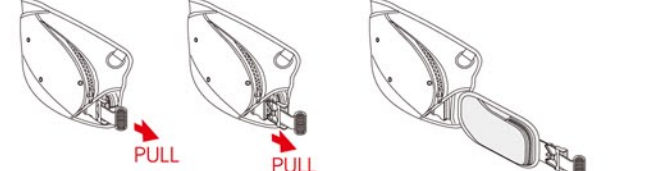
⑤ スプリングが完全に圧縮されるまでノブを回してベルトを締め、バックルA・Bの間が1cm以上離れていることを確認してから、タンクが完全に固定されているか確認します。

⑥ タンク固定後、ロープ等の引っ掛かりによる水中拘束を防ぐためにノブレバーをタンク側へ折り込みます。

⚠ 注意事項
タンクが完全にホールドされていることを確認してからダイビングを行ってください。

⚠ 注意事項
タンクを固定した際に「ノブ本体からネジ頭部が出る」「バックルAとBが接触する」などの場合は、破損の原因となりますので、ベルトの長さをタンク円周に合わせて短く調節してから締め直してください。

8) ウェイトリリースシステムの使用方法。

●リリース方法
グリップをしっかりと掴み、前方へ引っ張ります。
するとウェイトリリースパックを固定しているバックルが自動的に解除されます。
続けて前方へ引き出すと、ウェイトパック部分が出てきますので、そのまま引き抜いてください。

●セット方法
ウェイトパックに必要量のウェイトを入れ、ファスナーを閉じ、ウェイトリリースパックをB.C.ジャケット開口部に挿入します。
しっかりと奥まで押し込み。最後にバックルをセットします。

⚠ 注意事項
この際、カチっと音がするまでバックルを押し込んで下さい。

9) B.C.ジャケットを着用します。

着用前にB.C.ジャケットをタンクにセットし、B.C.ホースをパワーインフレーターへ接続し、タンクバルブを開けておきます。ショルダーベルトを緩め、チェストベルト・気室ベルトとテンショニング・カマーバンドを外した状態にして、B.C.ジャケットを着用します。着用後、ショルダーベルトのD環を左右同時に、真下へ向かって引きおろし、体にフィットさせます。
次にテンショニング・カマーバンドをウエストに沿わせ、ベルクロで固定します。
最後にチェストベルトと気室ベルトをセットします。なお、各ベルトは体を圧迫しない程度に調整してご着用ください。

⚠ 注意事項
陸上でB.C.ジャケットをタンクにセットした状態で持ち運びする際には、必ずタンクハーネスのキャリングハンドルをしっかりとつかんで運搬してください。

4. お手入れ

1) 塩抜きをします。

安全弁を外した状態で水槽などへ一晩程度ひたし、塩抜きを十分行った後、水を流し流しながら表面をよく洗います。エアバック内の洗浄は、安全弁部分から水（1/3程度）を入れ、よく振って洗い、塩分や砂・ゴミなど残さないようにしてください。
これを2～3回繰り返した後、安全弁を元の状態に組み立て、エアを入れ十分に膨らませてから、日陰で風通しの良い場所で乾燥させます。
また、手の届かない所の乾燥や砂・ゴミなどの吹き飛ばしにはエアブローガンの利用をお薦めします。

水槽などでの塩抜き　日陰干　水道水による流水

2) エアバッグのお手入れ。

長期保存の場合は、エアバッグ内をよく乾燥させた後ダイブパウダーを適量入れ、内側に均等に行き渡るようにします。
また、表面の汚れ落としにはダイブクリーナー等の使用をお薦めします。また汚れ落としなどの際、ガソリン・シンナー・アルコールなど揮発性の強い薬品や中性洗剤等を使用するとエアバックの生地を痛めたり、プラスチック部品が変形する恐れがありますので絶対に使用しないでください。

中性洗剤やせっけん、またシンナー・アルコールなどの揮発性の強い薬品は絶対に使用しないでください。

3) 金属部や可動部のお手入れ。

インレットボタンの金属シャフトやエキゾーストボタンのプッシュロッドなど、可動部分は常にスムーズな動きが必要です。塩抜きし十分乾燥させた後、ダイビングスプレーを軽く吹きかけておいてください。

5. 保管

B.C.ジャケットの高温な所での保管は避けてください。
エアバック素材の耐熱温度は-10℃～60℃です。この範囲外での使用・放置・保管は避けてください。特に窓を閉めきった自動車内や浜辺等で、直射日光をあてたまま放置すると、真夏では表面温度が80℃以上になることがありますので、ご注意ください。
またB.C.ジャケットの上には重量物を乗せないように保管してください。

重量物を乗せないでください。